

開成町環境基本計画 2025～2032 の素案に対するパブリックコメントの結果について

開成町環境基本計画 2025～2032 の素案に対するパブリックコメントについて、皆様からいただいた意見に対する町の考え方を公表いたします。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

意見募集期間：令和 7 年 1 月 20 日(月)～ 2 月 19 日 (水)

人数及び意見数：1 名（6 件）

NO.	町民の皆様からのご意見	ご意見に対する町の考え方
1	町の環境基本計画や環境活動に対し、町民の具体的な行動レベルの記載がなく、町役場の環境活動の外向きのアピールの様に思われる	計画素案「第 4 章目標の実現に向けた取組」に町の取組とともに、町民・事業者の取組（行動）をイラストを交えて記載しています。パブリックコメント後に作成する概要版においても、町民・事業者の取組事例をイラストを交えて示すように致します。
2	町民が困っているゴミ問題（燃えるゴミの日に毛布の廃棄、プラの日に事務用プラスチック容器の廃棄、近隣の人でない人物が車で乗り付け大量の燃えるゴミ廃棄等）へのアプローチの記述がない。役場の担当者も、ゴミ収集場所の毎週の現地現物で実態確認が必要と思う。	様々なごみ問題については計画素案の中で、ごみの分別ルール徹底、不用品の再利用の推進などを進めることとしています。ごみ問題の関心・理解を高めるよう、広報誌やホームページでの呼びかけやごみ置き場のパトロールを実施します。
3	駅前通り開発計画では、高層ビルが林立する図が示されている。明神岳等の山脈の景観が著しく悪くなることを懸念する。町の環境計画の将来の姿と、駅前通り開発計画の整合性の記述がない。	本計画で扱う範囲は「自然環境、資源循環、生活環境、脱炭素、環境教育」の取組を推進するものです。計画の推進にあたり参考として承ります。
4	2025 年策定で、2032 年完成の環境計画は、現実と乖離している。2 年毎の目標値がないのは不自然。マイルストーンの明確化が必要。	本計画の計画期間は 2025 年度から 2032 年度までとしましたので、目標値は 2032 年度を示しています。計画の進行管理においては、町の目標値・取組は総合計画における進行管理と連携しつつ、毎年度、把握、整理し施策・事業の検証を行います。
5	藤沢市や県の市町村では、個別収集で、ゴミ減量と不法投棄減少を達成している。他の市町村の事例の研究がないのは残念。	家庭から出るゴミは減少傾向にあり、計画目標を達成しています。ごみの減量化をさらに進めるため、4 R を推進していきます。また、不法投棄を減少させるため、ごみ置き場のパトロールを実施していきます。
6	P F O S 調査や地震対策への言及が必要な時代なのに、それらの記載がないのは残念。	本計画は、町、町民、事業者の取り組みを示し、行動指針として活用するもので、特に P F O S や災害のことについてはふれていません。なお、P F O S については神奈川県が調査を行っており、開成町内での地下水の調査（令和 4 年度）については基準値以下でした。また、地震対策については、開成町地域防災計画において対応することとなっています。